

高石商工会議所景気観測調査 2019年7月調査

(調査概要)

○調査対象:高石市内 53 社(業種内訳 製造業9社、建設業7社、小売業・卸売業15社、飲食業10社、サービス業12社)

○調査時期:2019年7月

○調査項目:業況、売上高、採算、資金繰り、仕入価格、従業員(人手)状況

○調査方法:「FAX、インターネットによる回答」・「職員による調査票に基づくヒアリング」

(全体)



売上高		仕入単価		従業員	
増加	10	下落	3	不足	17
不変	22	不変	27	不変	35
減少	21	上昇	23	過剰	1

すべての業種で**仕入価格の上昇**と**従業員の不足感**があり、今後もこの傾向が続くと考えられている。**売上高や人材の確保**が顕著な課題であり、**国が進める生産性向上の支援を活用**し取り組みを進めたい。

(製造業)



売上高		採算		仕入単価	
増加	1	好転	0	下落	0
不変	5	不変	6	不変	4
減少	3	悪化	3	上昇	5

売上高は軟調であり、**仕入単価の上昇**、**人手不足により利益確保が困難**な状況である。そしてその傾向が続くと予測されている。**ものづくり補助金等の生産性向上支援策**や大阪人材確保推進会議が実施する**製造業向けの施策を活用**するなど、モノへの投資に加えてヒトへの投資も進めることを検討したい。

(建設業)



業況		仕入単価		従業員	
好転	2	下落	0	不足	3
不変	5	不変	3	不変	4
悪化	0	上昇	4	過剰	0

景況感は比較的良く今後も続くと思われている。ただ、**仕入単価の上昇傾向が続いており、利益率の動向は引き続き注視**する必要がある。さらに**人手不足感**は相変わらず強く、大阪人材確保推進会議が実施する**建設業向けの施策を活用**するなど、ヒトへの投資を進めることを検討したい。

(小売・卸業)



売上高		従業員		業況	
増加	1	不足	5	好転	1
不変	5	不変	10	不変	6
減少	9	過剰	0	悪化	8

売上高の減少、人件費の高騰などにより業況が悪化しており、先行きも同様の予測である。中小機構が開設する**生産性向上特設サイト**などを活用して、**自社に合った生産性を向上させる取り組み**を始めることが望まれる。

(飲食業)



売上高		仕入単価		業況	
増加	1	下落	2	好転	1
不変	4	不変	2	不変	5
減少	5	上昇	6	悪化	4

売上高の減少、仕入単価の上昇により業況が悪化、今後もその傾向が続くと考えられている。中小機構から提供されている**小規模事業者でも使いやすいアプリを紹介するサイト**を活用して、**ITやホームページの導入**により**生産性向上とプロモーション強化**を図りたい。

(サービス業)



売上高		仕入単価		採算	
増加	4	下落	0	好転	3
不変	5	不変	8	不変	6
減少	3	上昇	4	悪化	3

仕入単価は引き続き上昇しているが、**売上高や採算は持ち直**している。先行き予想は楽観できないこともあり、引き続き**小規模事業者が活用しやすいITツールの活用**などで**プロモーションを強化**し、売上高確保の取り組みを続けたい。